



教祖140年祭

If you do not follow the path of the Divine Model, there is no need for a Divine Model... There is no path but the path of the Divine Model.

Osashizu, November 7, 1889

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略) ひながたの道より道が無いで。
(おさしづ 明治22年11月7日)

ほそみち
細道は通りよい
とよ
往還通り難い
おおくわん
おおくわん

細道とは、通るのが困難な道。往還道とは、
広くて立派な道。世間的に考えれば、細道
より往還道の方が安心安全に通行できると
考えるでしょう。

しかし親神様は、
細道は通りよい、往還通り難い。

(おさしづ 明治22年11月7日)

と、お教え下さっています。

お道の信仰は心の道です。先が見通せない
細道は、危険に出遭わないか、つまずい
たりしないか、道に迷ったりしないか、慎
重に通ることでしょう。

一方の広い道なら、つい慢心してよそ見
したり、車ならスピードを出しすぎたり、

かえって不注意から事故を起こしやすい心
になるのではないのでしょうか。

中山善衛・三代真柱様は著書「道しるべ」
にて次のようにお話し下さっています。

苦しく難儀な道中では、親を求め、教え
を求めて緊張して歩みを進めるお互いで
ありますが、結構すぎる道の中では、と
かく惰性に流れ易く、元を忘れてしま
い私達の心の弱さをお諭し頂くように
思っているのであります。

おやさま
教祖年祭活動にあたり、諭達第四号に心
を揃え、教祖がお残し下さったすけ一条
のひながたの道を、わずかでも自ら心を定
め、実行してみましよう。まずは三日間から。

本島大教会布教部(位)